

- 1 日本国憲法において、政治の最終的な決定権が国民にあるとする原理を何という？
① 基本的人権の尊重 ② 平和主義 ③ 国民主権 ④ 権力分立 ☐ ☐
- 2 他人の人権との衝突を防ぐために、個人の自由や権利が制限される根拠となる考え方を何という？
① プライバシーの権利 ② 幸福追求権 ③ 知る権利 ④ 公共の福祉 ☐ ☐
- 3 法律や条約、政令などが成立したことを国民に広く知らせるために、天皇が行う国事行為を何という？
① 任命 ② 指名 ③ 公布 ④ 批准 ☐ ☐
- 4 国民が国政に参加する最も重要な手段として、国民が代表者を選ぶ仕組みを何という？
① 選挙 ② 国民審査 ③ リコール ④ 直接請求 ☐ ☐
- 5 大日本帝国憲法のもとで、天皇を補佐する役割を担った大臣たちのことを何という？
① 国務大臣 ② 貴族院議長 ③ 枢密院議長 ④ 衆議院議長 ☐ ☐
- 6 日本国憲法第9条が禁じる戦力には当たらないとする政府見解に基づき、自衛のための必要最小限度の実力組織として運用されている組織を何という？
① 保安隊 ② 警察予備隊 ③ 防衛省 ④ 自衛隊 ☐ ☐
- 7 国家権力の暴走を防ぐために、政治を行う者も法に従わなければならないという考えを何という？
① 法律 ② 法の支配 ③ 条約 ④ 命令 ☐ ☐
- 8 日本が自らを守るための必要最小限度の実力組織として保持している組織を何という？
① 国際協力隊 ② 国連平和維持軍 ③ 自衛隊 ④ 治安維持法 ☐ ☐
- 9 通常法律よりも改正の手続きが厳格に定められている憲法のことを何という？
① 民定憲法 ② 硬性憲法 ③ 欽定憲法 ④ 軟性憲法 ☐ ☐
- 10 天皇が行う国事行為に対して必要とされる、内閣からの政治的な責任を伴う手続きを何という？
① 助言と承認 ② 国会の同意 ③ 天皇の認証 ④ 内閣の責任 ☐ ☐
- 11 国のあらゆる法の中で最も強い効力を持つため、憲法に反する法律や命令を無効にできる法的な地位を何という？
① 政令 ② 法律 ③ 最高法規 ④ 規則 ☐ ☐
- 12 憲法を改正するために、国会の各議院で必要とされる賛成の割合を何という？
① 3分の1 ② 過半数 ③ 3分の2 ④ 4分の3 ☐ ☐
- 13 天皇が国事行為として任命し、内閣の首長として行政権を統括する役職を何という？
① 衆議院議長 ② 参議院議長 ③ 内閣総理大臣 ④ 最高裁判所長官 ☐ ☐
- 14 憲法改正の発議後、国民が最終的な賛否を決定するために行われる手続きを何という？
① 総選挙 ② 国民投票 ③ 最高裁判所裁判官国民審査 ④ 地方特別住民投票 ☐ ☐
- 15 国の権力を憲法で縛ることで、国民の権利を守るという考え方を何という？
① 基本的人権の尊重 ② 法の支配 ③ 立憲主義 ④ 国民主権 ☐ ☐

